

太田市立北中学校 学校だより

平成27年 5月 1日号

健康 進取 敬愛

北中だより

文責：三田 康弘

生徒の皆さんへ

『言葉ノート』に書き連ねて、言葉の在庫を貯めておく

3年生になると、入試に向けて先生方が面接練習をしてくださいます。私もそのお手伝いを毎年させてもらうのですが、その練習の中で、必ず生徒に質問する事柄があります。それは「あなたの座右の銘は何ですか？」という質問です。座右の銘とは「常に自分の心に留めておいて、自分の行動の戒めや励ましとする言葉」のことです。

私は学生の頃から続けていることがあります。それは新聞や本を読んだり、映画を観たり、または人と話をしているときに、「あっ、この言葉いいなあ。」と思ったら、それを『言葉ノート』に書き留めておくことです。そして時々その『言葉ノート』を開いて、その言葉に出会ったときの感動をもう一度思い出したり、心にもう一度、その言葉を刻んだりしています。ですから心が沈んだときに、その『言葉ノート』からエネルギーをもらったり、逆に、横柄な気持ちになりそうなときに『言葉ノート』のお陰で謙虚になれたりします。生徒集会のときに、私が皆さんに話す言葉も、そんな私の『言葉ノート』の中から選んで、伝えるようにしています。

先日、テレビのクイズ番組などにも出演している昭和女子大学学長の坂東眞理子（ばんどう まりこ）さんの本を読んでいたら、「いい言葉に出会ったら、花を摘むように『この言葉を摘んでおこう』と、心の葉しおりにしておきます。」という一文に目がとまり、すごく分かる気がしました。

皆さんもぜひ、小説の中の一節。テレビドラマの中での名台詞。あのとき先生に言われて励まされた一言。友達に言われて勇気づけられた一言。それらを手帳やノートに書き留めておき、それを日々の生活の中で積極的に使うことで、自分だけの本物の言葉にしてほしいです。そんな言葉をこの中学生のうちにたくさん集めてください。

自分の人生を豊かにする言葉が増えることは、宝物が一つ増えるのと同じです。

何もしない人に失敗はない！！

・・・・・・あのエジソンも失敗の連続だった!?・・・・・・

トーマス・エジソンといえば天才的な発明家というイメージがありますが、エジソンは決して天才ではないのです。エジソンにまつわるこんなエピソードがあります。

エジソンは多くの発明を行ったことで有名ですが、その中でもよく知られているのが「白熱電球」の発明です。この白熱電球を発明する過程で、彼はすさまじい努力を重ねて、研究と実験を繰り返したそうです。

エジソンは様々な研究の結果、電球の中のフィラメントに使うのに適した素材が見つければ、白熱電球は完成するということまで何とかたどりつきました。でも周りの人たちは「すでに数千種類の素材を使って実験しても成功しなかったのだから、このやり方でダメではないか。」という疑問が起こっていました。その疑問の声に対してエジソンは「この世の中には、およそ5,500種類の物質があるとされています。これまでに3,000種類は試して、ダメだと分かったのですから、あと試すのは2,500種類だけです。」と答えたそうです。3,000種類もの物質をフィラメントとして使えるかどうかを試すのに、実験としては10,000回以上は、繰り返したそうです。そこで人々は、エジソンに「10,000回もの実験に失敗したんだから、無理だろう。」と言いました。それに対しても、エジソンは「これは単なる失敗ではありません。10,000通りの『うまく行かない方法』を見付けたのです。」と答えました。このような努力を繰り返した結果、ついにエジソンは、日本の京都でとれる竹がフィラメントに最適であることを発見しました。竹を使って、実験に成功し、1879年に白熱電球を製造しました。もし、この研究のどこか途中でエジソンが「こんなに何度も失敗したのだから、ダメだ。」とあきらめていたら、人類社会に電気の明かりがとめるのは、さらに数十年遅れていただろうと言われていています。エジソンも私たちと同じように失敗を繰り返したのです。でも、その失敗を『うまく行かない方法をたくさん見付けた。』と考えたから、最後には成功につながったのです。

※勉強、部活動、友人関係等々で、自分が一生懸命に取り組んでもなかなか成績が上がらなかつたり、上達しなかつたり、上手く相手に伝わらなかつたりすることもあるかと思えます。でもそんな時には、もう少しそのやり方で続けてみましょう。それでもダメなら、エジソンのようにさらに別の方法を工夫してみることがよいかもしれません。いずれにしても決してあきらめないで、続けることが何よりも大切なことです。

最後にエジソンはこんな言葉を残しています。

「天才は99%の努力と1%の才能から生まれる。」

「私は失敗しない。なぜなら成功するまであきらめないからだ。」